

平成30年度指定管理者制度活用事業 評価シート(こども文化センター)

1. 基本事項

施設名称	麻生区第1グループ(百合丘・東百合丘・千代ヶ丘)	評価対象年度	平成30年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中原区新丸子東3丁目1100番地12	評価者	青少年支援室長
指定期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日	所管課	こども未来局 青少年支援室

2. 事業実績

利用実績	1 百合丘こども文化センター ①年間延べ利用者数	H29 31,166人	H30 30,731人	②年間延べ利用団体数	H29 477団体	H30 446団体
	2 百合丘小学校わくわくプラザ ①登録者数	546人	515人	②年間延べ利用者数	31,372人	32,694人
	3 西生田小学校わくわくプラザ ①登録者数	432人	406人	②年間延べ利用者数	24,567人	25,693人
利用実績	1 東百合丘こども文化センター ①年間延べ利用者数	22,650人	23,841人	②年間延べ利用団体数	316団体	320団体
	2 長沢小学校わくわくプラザ ①登録者数	314人	336人	②年間延べ利用者数	19,010人	18,345人
	3 南百合丘小学校わくわくプラザ ①登録者数	427人	401人	②年間延べ利用者数	17,155人	18,210人
利用実績	1 千代ヶ丘こども文化センター ①年間延べ利用者数	26,792人	30,393人	②年間延べ利用団体数	313団体	299団体
	2 金程小学校わくわくプラザ ①登録者数	243人	234人	②年間延べ利用者数	10,195人	11,414人
	3 千代ヶ丘小学校わくわくプラザ ①登録者数	299人	321人	②年間延べ利用者数	15,345人	17,396人
収支実績	単位:円					
	1 収入 指定管理料	172,719,522				
	2 支出 人件費 管理費 事務経費 その他経費 合計	147,084,291 11,646,882 7,611,776 9,103,743 175,446,692				
3 差引	-2,727,170					
サービス向上の取組	運営協議会、保護者懇談会、子ども運営会議、日常的な利用者とのコミュニケーション等により、利用者ニーズを把握し、館の活動や運営に反映した。また、事業者のスケールメリットを活かした全館行事、区行事やグループ行事など、地域を越えた児童の健全育成、交流の場づくりを実施した。					

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進 及び 事業成果	「仕様書」を遵守して適切な事業の実施がなされているか。	10	4	8
		「事業計画」に基づき、着実な事業の推進がなされているか。			
		「こども文化センター」の運営をすることにより、児童の健全な育成が図られているか。			
		「わくわくプラザ事業」を実施することにより、放課後児童の健全育成が図られているか。			
(評価の理由) ・仕様書・事業計画に基づき、こども文化センター及びわくわくプラザ事業を適正に実施した。 ・百合丘こども文化センターでは利用団体やいこいの家との連携により、「母の日に伝えたい・・・絵手紙をかこう!」や「新春！おりがみ大会」を新たな事業として実施するなど、積極的に多世代交流を図っている。 ・東百合丘こども文化センターでは、新たにいこいの家との連携事業として、冬まつりのステージに、いこいの家で活動しているフラダンスグループを招くなど、多世代交流の取組を行った。 ・千代ヶ丘こども文化センターでは、地域の陶芸クラブの協力により、ろくろを借り、新たな事業として、「陶芸体験」を実施し、茶わんや湯呑みを自分で作る体験を提供することで、参加した子どもたちは、自分たちで作品を作り上げた達成感や満足感に加え、物の大切さについて考える機会を得ることができた。 ・こうした取組の結果、グループ全体として利用者数が、昨年度と比較し、約5%増加した。					
サービス向上及び業務改善	利用者ニーズ	サービス向上のために、利用者等の意見を適切に把握しているか。	10	3	6
		利用ニーズを把握し、事業実施に適切に反映しているか。			
		苦情対応など、利用者への適切な対応が図られているか。			
	特別な配慮を要する利用者への対応	特別な配慮を要する利用者への対応が適切になされているか。	5	4	4
	学校及び行政機関との連携	事業の実施にあたり、学校及び行政機関、地域の団体等との連携がなされているか。	10	3	6
	施設・事業の広報	施設を知ってもらい、事業の充実を図るための周知の活動等に取り組んでいるか。	5	3	3
	運営協議会の実施	「こども文化センター運営協議会」が適切に運営・開催されているか。	5	3	3
	保護者懇談会の実施	「わくわくプラザ保護者懇談会」が適切に運営・開催されているか。	5	3	3
(評価の理由) ・利用者ニーズについて、意見箱の活用や利用者アンケート、子ども運営会議等を通して、利用者ニーズ把握に努めたほか、苦情等への対応も適切に行われている。 ・特別な配慮を要する児童への対応について、研修を受講し、職員の資質向上に努めるとともに、保護者や小学校等との情報共有などにより、個々の児童に合わせた対応をしている。具体例として、車椅子を利用する児童の受入れに当たり、学校、保護者のほか、担当の医師と面談し、配慮事項等についてスタッフ間で共有し、対応を検討するとともに、行事にも参加できるように、専用のゲーム台を作成するなど、児童の処遇向上が図られた。 ・学校及び行政機関との連携について、麻生区役所と連携して、「歯の健康講座」を開催するなどの取組が行われている。 ・施設・事業の広報について、ホームページやおたより等多様な媒体を用いて広報を行っている。東百合丘こども文化センターでは乳幼児たより「LLK」を毎月発行し、千代ヶ丘こども文化センターでは、連協広報誌「ちよこぶん」を発行するなど、施設・事業の周知のための広報等を定期的に行っている。 ・運営協議会の実施については、運営協議会が設置され、事業計画どおりに開催されている。 ・保護者懇談会の実施について、曜日や時間を工夫して、多くの保護者が参加できるように開催した。また、アンケート等で保護者ニーズを把握している。					

組織管理体制	適正な人員配置	「児童福祉施設の設置及び運営の基準に関する条例」第54条に基づく職員配置がなされているか。	10	3	6
		「仕様書」において定める職員配置の最低基準が順守されているか。			
		「川崎市公契約条例」が遵守されているか。			
	職員の研修体制	職員の資質向上のために必要な研修が実施されているか。	10	4	8
職員が研修に参加しやすい仕組みづくりがなされているか。					
個人情報等の取扱	法人として、個人情報保護に関する規定や体制を整備しており、適正に取り組んでいるか。	5	3	3	
(評価の理由)					
<ul style="list-style-type: none"> ・適正な人員配置については、子ども文化センター及びわくわくプラザにおいて、仕様書・事業計画に基づき、適正な配置がされている。 ・職員の研修体制については、館内会議やスタッフ会議等において、研修を受講した職員がその知識を共有しているほか、研修資料やレポートをファイル等に一元化して管理し、職員が閲覧できる等、共有化の仕組み作りができています。また、区合同研修として、看護師を講師に招いて「子ども応急箱～けが・病気別対処法～」研修を実施し、クガや乳幼児の誤飲等の具体的な対処法を学び、職員の資質向上が図られた。さらに、百合丘子ども文化センターにおいては、「ボードゲーム研修」を実施して、ボードゲームの遊び方やルールを学ぶことで、利用児童に遊び方を教えることでコミュニケーションが深まるなどの効果があった。 ・個人情報の取扱については、法人において定めている、個人情報保護方針及び取扱規定に基づいて、個人情報等は鍵のかかる保管庫に保管されている。また個人情報の漏洩の事実はなかった。 					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な施設利用のため、施設や設備の保守・点検を適切に行っているか。	5	4	4
		必要に応じて適切な維持・補修がなされているか。			
		備品等の管理が適切になされているか。			
	利用者の安全確保	利用者の安全を確保するための体制が整っているか。	5	4	4
		事故等が発生した場合に迅速かつ適切な対応が図られているか。			
	防犯対策及び災害時の対応	事故防止や感染症予防対策等が事前に図られているか。	5	4	4
施設の防犯対策に工夫がなされているか。					
災害発生時に備えた対応が図られているか。					
(評価の理由)					
<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備の保守管理については、子ども文化センター・わくわくプラザ共に、施設・設備の保守点検を日常的に行い、補修が必要な場合は適宜、工事等実施している。百合丘子ども文化センターでは、雨天時の利用者の転倒防止を図るため、ベランダにノンスリップ塗装を行い、利用者の安全性の向上を図った。 ・利用者の安全確保については、財団作成の各種マニュアルに沿って、事故対応や衛生管理等を適切に行っている。また、館内会議やパートナー会議、スタッフ会議の機会を捉え、事故事例の情報共有や、対応策の検討などの取組を行っている。さらに、グループ内の各子ども文化センターでは、麻生警察との連携による「不審者対応研修」を、別々に実施して、各施設の個別具体的な実情に合わせた対応策を検討するなど、事故防止に積極的に取り組んでいる。 ・防犯対策及び災害時の対応として、法人作成の「不審者対応マニュアル」や、館ごとに作成している「災害時対応マニュアル」に基づき、災害備蓄品の常備や消防訓練、避難訓練の実施等、防災体制の強化に取り組んでいる。百合丘子ども文化センターでは、町内会と夜間の防災訓練を実施し、非常食づくりを実施し、また、千代ヶ丘子ども文化センターでは、消防署・赤十字のボランティア協力により、自治会と合同で防災訓練を行うなど、共助・互助の取組を積極的に進めている。 					
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	法人の規定等に沿った適切な会計処理と金銭管理がなされているか。	5	3	3
	効率的・効果的な支出	「事業計画」に沿った適切な支出がなされているか。	5	3	3
		効率的な執行に努め、経費削減に具体的に取り組んでいるか。			
		支出に見合う効果が効果が得られており、サービス水準も確保されているか。			
(評価の理由)					
<ul style="list-style-type: none"> ・金銭管理・会計手続については、適正に行われている。 ・受託20グループ52施設を管理している運営法人のスケールメリットを活かし、一元的な臨時職員の雇用・管理、警備等業務委託の一括契約、消耗品や備品の一括購入等の取組により、効率的・効果的な経費の支出がなされている。 					

4. 総合評価

評価点合計	68	評価ランク	C
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

市内20グループの子ども文化センター及びわくわくプラザの指定管理を行うスケールメリットを活かし、効率的・効果的な事業運営を行っている他、全館・全区合同事業の実施、経験や役割に応じた計画的な研修実施によって職員の資質向上を図り、また研修内容・事故状況等の情報を全館で共有するなどにより、安定的で良質なサービス提供を行っている。

また、百合丘子ども文化センターでは、小学生グループ内での遊具紛失トラブルを早期に把握し、小学校との情報共有、連携により、当事者と話し合いを行い、事態の収拾を図るなど、いじめ等の防止にも努めており、良好な施設運営を行っている。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

今後も、地域社会全体で子どもを見守り育てる、安全・安心な居場所となるよう、環境整備や職員のスキル向上に努め、学校、行政、地域の各団体が共に連携しながら地域づくりを進めることで、職員と子どもの顔の見える関係を築き、小中高生から高齢者まで、多世代にとって、居心地のよい場となるよう努めること。また、より効果的な広報を行うために、対象年齢を捉えた広報について工夫をこらすなど、さらなる積極的な取組が望まれる。